

モニタリングの対象期間
R4.4.1～R5.3.31

モニタリング結果の概要

1	施設名	松山市青少年センター		施設数 1	4	評価区分	担当課	指定管理者		
	指定管理者	松山市青少年育成市民会議			施設利用状況	3	2			
	職員数	常勤	5		非常勤	16	職員配置	2		2
	指定期間	H31.4.1 ~ R6.3.31			コスト削減	4	4			
	担当課	教育支援センター事務所			収益	-	-			
	2	主な業務	利用の受付及び使用料の徴収等 施設の運営に関する業務 施設等の維持管理に関する業務 主催事業等の実施に関する業務			設備等管理	4	3		
			自主事業の実施		5	5				
			サービス向上		4	4				
			利用者評価		4	4				
			5 サービス向上のための取組み（実績）							
3	年度	事業収支 (千円)		利用者数	接遇目標を設定したことにより、明確な目標が定まり、受付業務で意識し一つ一つの業務に取り組み始めた。 各角度からのアンケートを実施したことにより、様々な意見が（ロビーでは、中学生や青少年の意見が多く）寄せられ、サービス向上へとつながった。					
		コスト	収益		6	前年度の課題と改善策	7	担当課コメント（評価・指摘事項）		
		R2年度	69,530		7,363	124,638	新型コロナウイルス感染症の影響で、感染防止対策や施設の利用制限などがあり、目標値を下回った。コロナ禍で、3密対策、定期的な換気等の感染防止対策を行いながら、多くの青少年に施設利用をしていただけるように、各種イベントの開催方法を変更して実施したことやSNSなどで情報発信に取組み、施設の利用者数増加に努めた。	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数の目標は達成することはできなかった。新型コロナウイルスの感染状況に注視しながら、目標の施設利用人数を達成できるよう、イベントの通常開催やSNSを活用した情報配信、チラシ・パンフレット等で施設の利用を促す。また、施設の老朽化が進んでいるため、予算の範囲内で可能な限り、対応を行っていく。		
		R3年度	75,185		4,171	76,581				
		R4年度	67,823		6,599	126,886				
対前年比	90.2%	158.2%	165.7%							

- 【職員数】**
現在、施設を維持管理するために配置されている指定管理者の職員数です。
- 【主な事業】**
指定管理者がこの施設で行っている業務・活動内容です。
- 【事業収支（コスト・収益）】**
当該年度を含む3年度分の指定管理者と市のコスト・収益の合算額を表示しています。
「対前年比」は「R4年度実績/R3年度実績」の計算により算出しています。
- 【5段階評価】**
9項目についての、担当課と指定管理者の評価です。
 <判定基準>
 5：指定管理者のノウハウや努力により、目標水準を大きく上回る成果が得られた。
 4：協定や仕様書を遵守の上、目標水準をやや上回った。
 3：協定や仕様書の内容とおり業務を履行し、目標水準どおりだった。
 2：概ね協定や仕様書どおりの業務を履行したが、目標水準をやや下回った。
 1：市の指導・助力・助言等を受けても、協定や仕様書の内容を遵守できておらず、得られた成果は、目標水準を大きく下回っていた。
- 【サービス向上のための取組み（実績）】**
指定管理者が実施したサービス向上のための取組みや自主事業を挙げています。
- 【前年度の課題と改善策】**
指定管理者と担当課が認識している前年度（R4）の課題と、今後の改善策の内容です。
- 【担当課コメント（評価・指摘事項）】**
前年度（R4）の指定管理者の業務に対する評価事項、改善すべき指摘事項についての担当課のコメントです。
 <9つの評価項目の内容>
 ■施設利用状況…施設利用者数の実績
 ■職員配置……効率的な業務実施のための的確な職員配置
 ■コスト削減…管理経費削減の実績、指定管理料の適正な執行等のコスト削減に向けた取組み
 ■収益……………収益実績、料金設定の見直し、PR等の収益増に向けた取組み
 ■設備等管理…台帳の作成や目視確認、不具合の抽出等、施設・設備・備品の適切な管理
 ■危機管理……マニュアル整備や訓練の実施等
 ■自主事業の実施…指定管理者の経費負担、企画立案で実施した取組み
 ■サービス向上…サービス水準維持・向上のための取組み
 ■利用者評価…利用者アンケート等による評価